

# 鳥取 家族会だより

[発行者]

鳥取県精神障害者家族会連合会

〒680-0901 鳥取市江津 318-1

鳥取県立精神保健福祉センター内

TEL (0857)21-3031

FAX (0857)21-3034

## 令和4年度 要望活動報告 ～鳥取県への要望について思ったこと～

「地域包括支援システム」について、県西部で行われていますが、どんなシステムなのでしょうか？精神障がい者で退院する人は西部だけでなく、県中部や東部にもいます。また、通院しながら地域で生活している人もいます。すべての精神障がい者が今すぐ支援を必要としております。また、緊急時や通院時に本人を病院に連れていく家族がほとんどだと思いますが、連れていくことができないときはどうしたらいいのでしょうか？

ひきこもりやすべての障がい者について保健師が戸別訪問をしている自治体がありますが、皆さんの自治体はどうでしょうか？

啓発と教育について当会発行の「啓発リーフレット」の有効性は多くの高等学校で認めていただいております。しかし、精神疾患を発症する人が低年齢化しています。小中学校でも活用している自治体の一部がありますが、県下全域で活用していただきたいものです。また、新しい指導要領の実施で高等学校での精神疾患の学習が始まります。先生も習ったことがないことを生徒に教えることになるので、先生も勉強していただきたいものです。自ら堂々と「精神疾患」と言えるように早くなるように正しい啓発と教育をお願いしたいです。

公共の交通運賃について、精神障がい者は他の障がい者に比べて割引制度の適用が少ないです。早く格差が是正されるようになればと思います。一部自治体は交通運賃の助成を行っておりますが、障がい者は労賃が少ないので県下全域で助成を行ってほしいものです。また、鳥取県も助成を行ってほしいものです。

特別医療費助成制度でほぼすべての精神障がい者に助成を行っている県もあるので、鳥取県も早く行ってほしいものです。

なぜ、鳥取県立中央病院に外来診療だけでなく入院病床が必要か説得力のある論理的理由があれば県も考える余地があるとのこと。県中部での外来診療も同じです。

報告:鳥取県家連 副会長 西村公雄

### 県への要望事項(概要)

#### 【精神保健施策充実のための要望】

1. 「精神障がい者にも対応した包括支援システム」構築の指針と現在の進捗状況の提示
  - ①県西部をモデル圏域とした体制づくりの進捗状況の提示
  - ②現在の圏域ごとの「協議の場」についての県としての考えの提示
  - ③障がい者が求めている支援等について、県としての考えの提示。
  - ④H30 実施の「ひきこもりの実態調査」後の実態及び施策の詳細の提示
2. 障がい者雇用において、精神障がい者への支援について R2 の支援内容と R3 の支援の詳細の提示
  - ①障害者就業・生活支援センターの支援内容と今後の方針
  - ②ジョブコーチの人員配置の状況、並びに今後の配置目標等
  - ③障がい者雇用アドバイザー、並びに就労定着支援員の増員と研修の充実
  - ④鳥取県として雇用している障がい別の人数の提示
3. 精神障がいへの正しい理解などの啓発並びに教育について
  - ①鳥取県家連の若者向け啓発活動（啓発リーフレット発行）を県内の小中学校へも広めるために、県・各市町村の事業としての実施
  - ②地域における啓発運動の積極的な実施
4. 鳥取県家連で行っている交通業者への要望活動について、行政の責任として力強い支援の要請
5. 精神障がい者に対する助成金制度の他障がいとの格差の是正
  - ①鳥取県特別医療費助成制度について、精神障害者保健福祉手帳2級所持者までの拡大
  - ②自動車税助成制度の適用について、早急な精神障がい者の現状把握と制度適用拡大

#### 【県立病院の精神科診療充実のための要望】

1. 県立中央病院の精神科の入院体制の整備
2. 県立厚生病院の精神科外来の開設と常勤医師の配置、入院体制の整備
3. 精神科医師の人材確保等の精神科医療充実に向けての昨年の成果と進捗状況の提示

鳥取県家連主催の上記の研修会が開催され、シンポジウムでは4の方が語られました。

【**当事者 岡善喜さん**】 八頭ひかる会・鳥取南部ひかる会の当事者会「キラキラ会」の代表として、発足されるまでの検討会の実績や課題等の話し合い、発足してからの話をされました。「これだけ自分の意見や思いを話せた」「聞いてもらったこともなかった」など、語り合いの中でも作業中心ではなく本人の心の深いところを分かかってほしい。行政はもっと奥深く当事者に関わってほしいと切々と語られました。

【**家族(親) 盛山由紀子さん**】 北条町家族会幸の会から母の立場での思いを語られました。娘さんが中学生の時に同級生の一言で過食症になり、昼夜逆転や不登校等に苦しんでいることを8年間気づけなかったことへの後悔(農業や人権擁護委員など引き受けていた)や、幸の会に入会し一緒に勉強するようになり、本気で娘の病気に向き合うようになった。娘は「自分さえいなければ」と自殺未遂3回。救急車で運ばれた時に医師から「最終的には本人の頑張りだが、医師、薬、家族、周囲の人、いろいろな力で支えていくしかない」と言われ、家族会議。また牧師夫妻の支え等が回復のきっかけになりました。「えらいしんどい」時はそれが言えることが大切。「病気を隠さず支えてもらう」「自死を考えないで」で締めくくられました。

【**家族(きょうだい) 安達賢さん**】 14年間の家族会活動に加え、障がい者就労支援、障がい者雇用に携わり自分に何ができるか、と話をされました。妹さんが仕事の激務化により「適応障がい」と診断されたこと、休憩をとり家族や周囲の支えが回復につながったこと。自分は支援の仕事をしているが、周りに助けてと伝える事が大切でそれに手をさしのべるのは当たり前のこと。そんな社会であればもっと誰もがストレスが少ない生きやすい世の中になっていくと思う、と結ばれました。

【**支援者 森定薫さん**】 倉吉市障がい者地域生活支援センターはっぴいのピアサポーターの森定さんの提言です。ご自分の「自分らしく生きていたい」生活史を語られ、特別ニーズ教育(特別支援教育)を学ばれ多くの当事者との交流を通じてピアサポートとして約10年、中学校・高校・大学と仕事をされ今の仕事に活かしている、と話されました。「自分らしく暮らす」ためには①「自分のやりたいことを見つけること」②「そのことについて友をつくり語り合うこと」が大切で結果的に地域で自分らしく暮らすことのスタートになるのではないかと。夢・希望・得意が大切であると話されました。

会場からは、共感や感想の声があがり、感想文も多数寄せられ、大変意義のある研修会となりました。各シンポジスト、参加の方々、ありがとうございました。

報告：鳥取県家連理事 相見槻子

## 参加者の声

私は現在B型事業所に通所しています。職員からパワハラともいえる発言を受け「どうせ誰も分かってくれないし」と欠勤していましたが、この研修会に参加させていただいて「自分のやりたいことを見つけること」という発表者の発言を聞き、忘れかけていた調理師の資格を取得しいつかは一般就労で働くという夢を思い出すことができました。皆さんの貴重な体験談も聞く事ができ、本当によかったです。(当事者)

4人のシンポジストの方の話を聞き、胸が高鳴り、心が熱くなりました。ある程度精神障がいについて知っていると思っていた私自身、何も知らない、知っているふりをしてきた人間だったのだと情けなく思いました。話を聞いているうちに精神障がい者の方々は特別ではなく、いつ・だれもが(自分自身・家族)精神的に落ち込み悩み病気が発生するかわからない身近な障がいだと感じました。

だれもが当たり前と願う“自分らしく暮らす”という事がなかなか叶えられない、そんな切実な体験の話の関係者やそれに係る人達だけが聞いているのはもったいないと思いました。もっと多くの人達が精神障がいについて学ぶ機会があるべきだと思います。

今回はとても有意義な会に参加させていただきありがとうございました。何か行動に移します。

(民生児童委員・関係機関職員)

## 三 「第14回全国精神保健家族大会・みんなねっと広島大会」に参加して 三

上記の大会が10月13日(全体会)・14日(分科会)に広島市で開催されました。コロナ禍の中で、会場参加者200人、オンライン参加は全国で250人と報告がありました。参加方法に多くの配慮をいただき、大会参加者であれば後日 YouTube でアーカイブ配信が視聴でき、全日程のほぼすべてが視聴可能という今までにない開催方法でした。

主催者挨拶で、みんなねっと岡田久実子理事長が「今年8月国連の障害者権利条約の初めての日本審査が行われ、精神医療制度や精神障がいがある人の権利擁護等について、多くの委員から質問や意見があり、世界から見える日本の課題があぶりだされたといえます。その課題解決のためにも、私たちの安心な生活のためにも、全国の皆さまからの意見をもとにまとめた“みんなねっと精神保健医療福祉への提言”の実現をめざし、誰もが安心してかかりたいと思える精神科医療、そして誰もが安心して暮らせる地域精神保健福祉の実現に向けて、全国の精神障がい者家族の皆様と共に、そして多くの関係者の皆様と共に確実な歩みを進めていきたいと思えます。」と話されました。

また、広家連岡本千恵子代表理事は、「お互いが愛を持って信頼し合い平和のうちに助け合い、障がいのある人もそうでない人も自立した自分の人生を生きてゆければと念じています。」と挨拶されました。

基調講演は、「地域において精神障害者と家族が安心して暮らせるために」と題して、講師は広島県障害者自立支援協議会会長 石井知行さんでした。以下講演の要約です。

地域においてその人がその人らしく生活していくことを目標とし、病気や障がいのためにこれが阻害されても、いろいろな支援を組み合わせることで少しでも安定した家庭生活を送ることができる制度の設立のために努力が求められている。このために重要なことが2点ある。

- ①当事者の病気や障害により大きな影響をうけながらも当事者をささえる家族に対する支援である。
- ②当事者、家族は社会の種々の差別偏見に傷つき、社会的不利益を被っている。安心した地域生活のために諸施設は欠かせない。障害者差別解消法は一定程度の成果をあげたが、不十分な側面もありさらに差別解消禁止を発展強化させる必要がある。

地域包括システムが当事者・家族を中心として役立つためには家族会の社会的活動が必要。家族会のさらなる貢献と発展が期待される。

石井先生のお話を伺い、家族会の役割の重要性を改めて感じました。

来年度は埼玉県での開催です。

報告：鳥取県家連会長 田淵眞司

### みんなねっと広島大会 研修内容

#### 第1日目<全体会>

基調講演：テーマ「地域において精神障害者と家族が安心して暮らせるために」

講師 広島県障害者自立支援協議会会長 石井知行さん

みんなネット活動報告 みんなねっと理事長 岡田久実子さん

特別講演(1): テーマ「だれもが自分らしく暮らせる地域のために」

(～みんなで考える地域精神保健のありかた～)

講師 国立研究開発法人 国立精神・神経医療研修センター精神保健研究所

地域精神保健 法制度研究部部長 藤井千代さん

特別講演(2): テーマ「原爆被爆体験」

講師 八幡照子さん

#### 第2日目<分科会>

第1分科会 家族による家族学習会の取り組み

第2分科会 家族相談支援のあり方

第3分科会 障害年金・当事者の地域での生活

第4分科会 高校教科書(保健体育)

# お知らせ

## ☆第31回心の健康フォーラム[オンデマンド配信(YouTube 限定配信)]

テーマ:「コロナ禍のメンタルヘルス ～災害と心のケア～」

講師:精神科医 前田正治氏(福島県立医科大学災害こころの医学講座主任教授)

開催方法:オンデマンド配信(YouTube 限定配信)

\*申込者のみ視聴が可能。期間中は繰り返しの視聴が可能。字幕あり

配信期間:令和4年12月23日(金)正午から令和5年2月10日(金)午後5時まで

対象者:当事者・家族・支援者・精神保健福祉に関心がある方

参加費:無料(ただし、動画配信にかかる通信料等は参加者負担になります。)

主催:鳥取県・鳥取県精神保健福祉協会

申込方法:令和5年1月20日までに Web フォームまたは FAX で申し込んでください。

\*動画視聴に必要な URL 等は、お申込みいただいたメールアドレスへ後日送付します。

留意事項:YouTube 動画を視聴できる端末およびインターネット環境が必要です。

本フォーラムの録画・録音・撮影・保存、資料の二次利用、研修内容の SNS 等への投稿は固くお断りします

### ☆【Web フォームから申込み】

ホームページにアクセスして、とっとり電子申請サービスで申し込んでください。

鳥取 精神保健福祉センター

検索



こちらの QR コードからでもアクセスできます。

### 【お問合せ先】

鳥取県精神保健福祉協会事務局  
(鳥取県立精神保健福祉センター内)

TEL 0857-21-3031

FAX 0857-21-3034

### ☆【FAX で申込み】

各所に配布しているチラシ裏面の FAX 送信票をご利用ください。

1人で悩まず  
お電話ください。 **精神障がい者家族相談ダイヤル**

相談専用ダイヤル

090-3880-3498

毎月第1・第3木曜日

13:00～16:00

★令和5年3月までの実施日★

1/5・19 2/2・16

3/2・16

- ・相談は無料です。(通話料は別途かかります。)
- ・秘密は固く守ります。
- ・相談は匿名でもお受けします。

### 次号に掲載する地域情報をお寄せください。

鳥取県内の各地域で開催する精神保健福祉に関する講演会・研修会・福祉イベントや、単位家族会・各事業所・作業所からのお知らせなどの情報をお寄せください。

なお、紙面に限りがございますので、お寄せいただいた情報がすべて掲載できない場合もあります。ご了承ください。詳しくは下記の鳥取県家連事務局までご連絡ください。

令和5年4月～6月開催の

講演会・研修会・福祉イベント…



皆さんからの情報をお待ちしています。

### 編集後記

今年は、秋になっても季節外れの温かさ(暑さ?)が続いたりして四季の移り変わりに鈍感になってましたが、気づけばあっという間に12月です。

世の中はウィズコロナが定着しつつあるようで、砂丘のイルミネーションの再開など、以前のような冬の華やかさが戻ってきました。なんだかちょっと安心します。

では、皆様よいお年をお迎えください。

事務局 岡嶋

☆「鳥取家族会だより」に対するご意見ご要望や精神保健福祉の情報など下記までお寄せください。家族会に関するお問い合わせもどうぞお気軽に！

鳥取県精神障害者家族会連合会事務局

〒680-0901 鳥取市江津318-1

鳥取県立精神保健福祉センター内

Tel 0857-21-3031 Fax 0857-21-3034